平和を希求する心を育てる取組

報告年月日　　令和３年４月３０日
都市名・国　　鹿　沼　市

取組の名称	令和２年度　戦争体験を語り継ぐ～平和の尊さを次世代へ～ＤＶＤ製作事業
実施主体 （該当項目に✔）	☑学校　☑自治体　☐ＮＧＯ　☑複合（「戦争体験を語り継ぐ会」、「鹿沼ケーブルテレビ㈱」による企画、制作、監修のもと、製作。）
テーマ・目的	戦争体験、空襲体験の継承
対象者 （年齢･学年、人数等）	市内小中学生（一般の方も視聴可能。）
実施場所	市内小中学校、各家庭での視聴
実施期間	令和２年

取組の概要（授業、イベントはプログラムの次第を、その他（例：コンテスト等）はそのプロセスを、具体的に記入してください。）

目的	市内の児童・生徒に平和の尊さ、戦争の悲惨さについて学んでもらい、次世代へと語り継ぐ映像資料として活用し、保存する。
企画・制作・監修	戦争体験を語り継ぐ会 鹿沼ケーブルテレビ株式会社
事業内容	市内在住の戦争体験者 4 名の証言を映像（DVD）に残し、鹿沼での空襲体験や戦時下の生活、出兵時のエピソード等が収録されている。市内小中学校では、教材として活用しているほか、図書館、コミュニティセンターで貸出しを行っている。 さらに、市の公式 YouTube チャンネルで映像を公開している。
DVD 貸出場所	図書館、市内コミュニティセンター、総合政策課事務室（鹿沼市役所本館３階）

参加者の反応
・東京大空襲や広島・長崎の原爆投下は知っていたけど、鹿沼でも空襲があったことは初めて知った。
・私たちが住んでいる鹿沼にもこんなことがあったということをみんなに知ってほしい。
・逃げ場もなく、いつ死ぬのかも分からない毎日を生きるのは嫌だなと思った。これからもずっと平和が続いてほしい。

成果
DVD に収録された戦争体験を通して、未来を担う小中学生が、平和の尊さ、戦争の悲惨さについて考えてもらう機会の創出につながり、平和意識の醸成や向上に寄与している。

課題
戦後から、75 年以上が経過し、戦争体験者の高齢化が進み、戦争を知る世代が減少する中、継続して、戦争体験を継承することが課題となっている。

取組で使用した素材について（図書、映像、パワーポイントなど。内容をわかりやすく簡潔に記入してください。）
市内在住の戦争体験者による証言を収録した映像（DVD）

上記素材の共有の可否（取組で使用した素材を、平和首長会議の WEB サイトに掲載し、他都市と共有することに、著作権その他の問題がないか、次からお選び下さい。）
☑掲載可能（素材を添付してください）　☐掲載不可　☐不明

※　画像等の資料がある場合は別ファイルで提出してください。

戦後75年事業
戦争体験を語り継ぐ
～平和の尊さを次世代へ～
① 濱野祐郎 さん
戦後75年事業
戦争体験を語り継ぐ
～平和の尊さを次世代へ～
② 廣田閑子 さん
戦後75年事業
戦争体験を語り継ぐ
～平和の尊さを次世代へ～
③ 福田 勇 さん
戦後75年事業
戦争体験を語り継ぐ
～平和の尊さを次世代へ～
④ 小野口 博 さん